

所属団体責任者殿
調布市剣道連盟会員各位

令和3年6月17日
調布市剣道連盟
会長 宮田考志

緊急事態宣言の解除を受けて ～剣道連盟主催行事の再開にむけて～

まもなく3回目の緊急事態宣言の期限を迎え、宣言が解除されるとようやく稽古が再開できるようになります。しかしながら感染リスクがなくなったわけではなく、引き続き十分な感染予防対策と各自の責任ある行動が必要となります。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、調布市剣道連盟の活動も昨年度は上部団体の主催する審査会につながる1級審査会と、感染者数が比較的収まっていた時期に開催した少年部合同強化稽古(体育協会 Jr.育成事業)のみの実施となり、ほとんどの行事を自粛しました。今年度に入っても変異ウイルスの急増などで状況は好転せず、現在も2月の1級審査会が実施できていないという状況です。

そのような中で、「審査会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」や「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法」が制定され、面マスクなども改良が進んできました。学校の部活動も再開され、中体連、高体連や他地域では剣道の大会が実施されています。

5月に開催できず、現在延期となっている調布市剣道大会の実施について、先日行ったアンケートを見ても、試合の機会をつくってあげたいという思いと、参加することに躊躇するという思いが入り混じった結果となりました。これを受けて剣連役員で協議した結果、今年度は以下のように進めていくことになりましたのでご報告します。

■ 市内剣道大会について

- ・アンケートで参加を表明した団体が半数および回答を保留している団体が3割あることから、小規模開催とはなるが7月11日(日)に少年部のみの調布市剣道大会を実施する。
(ご家庭ならびに所属団体の方針に従って大会へ参加する)
- ・当初予定していた少年部合同強化稽古(6/27・7/4・7/11)の中へ取り込んだ形での開催とし、怪我その他の不安要素をなるべく回避する。
- ・ワクチン接種が進み、現時点よりは感染リスクが低い中で開催できる秋の市民大会を今年度メインの大会として準備する。

■ 級審査会について

段位の取得は高校進学等にも影響すると考える家庭もあり、審査会が実施されるのなら受審したいという希望者がいる。2級以下においても昇級は達成感を与え、剣道継続の一助となることから、「審査会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」を順守し、万全の対策を取って実施する。

■ 外部大会への参加について

主催団体の実施方針を確認したうえで参加の可否を判断し、本人(保護者)ならびに所属団体の方針を尊重して選手選考を行い、参加する。

より良い方法を模索しながらの活動再開となります。会員皆様のご理解、ご協力をいただけますようよろしくお願い申し上げます。

以上